

# オランダ宿の娘



[オランダ宿の娘 下载链接1](#)

著者:葉室鱗

出版者:早川書房

出版时间:2010/03/19

装帧:単行本

isbn:9784152091192

江戸参府のオランダ使節団が、自分たちの宿「長崎屋」に泊まるのを、るんと美鶴は誇りにしていた。文政五年、二人は碧眼の若者、丈吉と出逢い、両国の血をひく彼と交流を深めてゆく。まもなく、病人のために秘薬を探していたるんは、薬の納入先を聞きつけた丈吉と回船問屋を訪れる。が、店に赴いた彼らが発見したのは男の死体だった。さらに数年後シーボルトをめぐる大事件が起こり、姉妹はその渦中に。

作者介绍:

葉室 鱗 (1951年 - )

) 日本の小説家。福岡県北九州市出身。西南学院大学文学部外国語学科フランス語専攻卒業。地方紙記者、ラジオニュースデスク等を経て、2005年に江戸時代元禄期の絵師尾形光琳と陶工尾形乾山の兄弟を描いた「乾山晚愁」が歴史文学賞を受賞。2005年に出版された「乾山晚愁」(新人物往来社)には歴史文学賞受賞作のほか「永徳翔天」「等伯慕影」「雪信花匂」「一蝶幻景」を収録。50歳から創作活動に入って4年で文壇デビューした。2007年には第14回松本清張賞に「銀漢の賦」が選ばれる。

「銀漢の賦」は、架空の藩を舞台にした時代小説。受賞時には「松本清張さんは同じ小倉の生まれで、非常に近しい感じがしていた」と語る。選考委員を代表して宮部みゆきは「藤沢周平を思わせる正攻法の歴史小説で、ほぼ全会一致で決まった。漢詩を心に残る形で使うなど、教養の高さが物語に厚みを与えた」と講評した。

目录:

[オランダ宿の娘 下载链接1](#)

标签

日本

评论

[オランダ宿の娘 下载链接1](#)

书评

[オランダ宿の娘 下载链接1](#)